

# 大中校区小中一貫教育たより③

今回は、大田原中学校区小中一貫教育に関わる活動・取組について紹介します。「児童生徒の交流活動」だけでなく、「小小・小中間での情報共有」や「小中教職員協働での授業力向上」を目指す取組など、幅広い活動が行われています。

## 1 小中一貫教育推進のための合同会議等



4月：運営委員会（校長・教頭・教務）を開催

※今年度の小中一貫教育の進め方及び重点項目等の確認

5月：大中校区会議（全体会）

※三校全教職員参加 グランドデザイン等をもとに目標等の共有を確認

※各指導部会の実施→小中のメンバー及び連携体制の確認

※各教科部会の実施→教科担当者での連携、乗入授業の計画



5月：大中校区会議（指導部会）

※各指導部のごとの重点項目の共通理解と具体策の検討

7月：大中校区会議（指導部会）

※取組成果の第一回検証→P D C Aサイクルにより改善策の検討

## 2 教職員の交流活動

6月：教職員の交流強化月間①

※授業参観等を通じた互いの学校の理解

7月：大中教員による小学校への乗り入れ授業（英語科）

9月：小中合同授業検討会：テーマ「ICTの活用について」

9月：大中教員による小学校への乗り入れ授業（理科）



## 3 児童・生徒の交流活動



6月：中学校の授業見学及び集団行動の体験

※西原小・紫塚小の6年生が大田原中体育館に  
集合し交流→集団行動体験&授業参観

6・7月：小中合同あいさつ運動

※中学生が作成したポスターを各小学校へ配付  
※大中学生が小学校を訪問し、一緒にあいさつ  
運動を実施。